

# 富山大学に通う学生の 恐怖・不安空間と安心・安全空間

富山大学人文学部人文学科  
社会文化コース  
中塚歩

## 目次

- I はじめに
- 1. 犯罪や不安に関する地理学的先行研究
- 2. 研究目的と調査方法
- 3. 調査地概要
- II 調査結果とデータの整理
- 1. 危険、もしくは不安・恐怖を感じる場所
  - 1.1. 危険を感じる場所
  - 1.2. 犯罪不安を感じる場所
  - 1.3. 恐怖を抱く場所
- 2. 安全・安心だと感じる場所
  - 2.1. 安全を感じる場所
  - 2.2. 安心を感じる場所
- III 種々の恐怖の空間とそれぞれの位置関係
- IV おわりに

## I はじめに

### 1. 先行研究と問題の所在

警戒心: 環境にふだんどちがう出来事が発生することで喚起される

不安: 何か危険が起こりそうな予感といいいが、その危険の原因が何なのかははっきりわからない

⇒この二つの心理的緊張が絡み合ったのが恐怖  
(イーファー・トゥアン 1980)

超自然的  
存在

自然

犯罪・暴力

### ▶ 超自然的存在への恐怖

- 内田(1990): 江戸後期の江戸の町人を対象とし世間話、怪異小説で受容した「不思議の場所」について家屋内部と家屋外部に分類・設定し述べている
- 高橋(2000): 学校の怪談が発生する場所を子どもの成長や子どもの感覚と対応させながら分析し、学校が日常生活の場かつ非日常的な不思議を持つ空間であると述べている

### ▶ 犯罪・暴力への恐怖

「犯罪不安」とは自分:「犯罪の被害者」となるかもしれないという感情的・情緒的な動揺と定義(細井ほか1997)

- ペイン(1997): 女性に焦点を当て、女性の属性が暴力的犯罪やそれへの恐怖の反応にどの程度影響するかを調査し、それが空間の制約に繋がっている

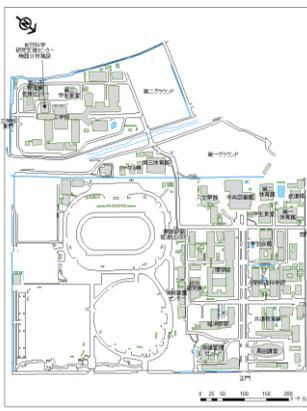
→ 一種類の恐怖に関しての調査が多く、すべての恐怖を複合的に調査しているものは少ない

## 研究目的と研究方法

調査対象者の持つ様々な恐怖が、どのような経験から発生し、どのように地図上に現れるかを調査する。またそれによって種類の違う恐怖同士的位置関係と、富山大学学生が同キャンパス内の空間をどのように捉えているか解明する

調査対象地の地図(A4)に

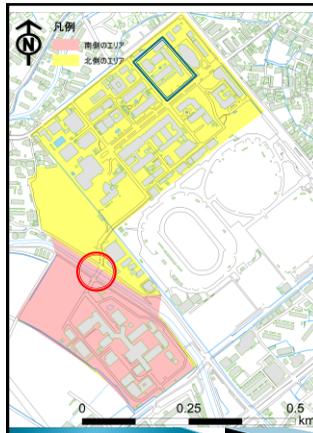
- ① 普段の行動範囲
  - ② 危険や怖い・不安だと感じる場所
  - ③ 安全・安心だと感じる場所
- を記入してもらおうと同時にインタビューした

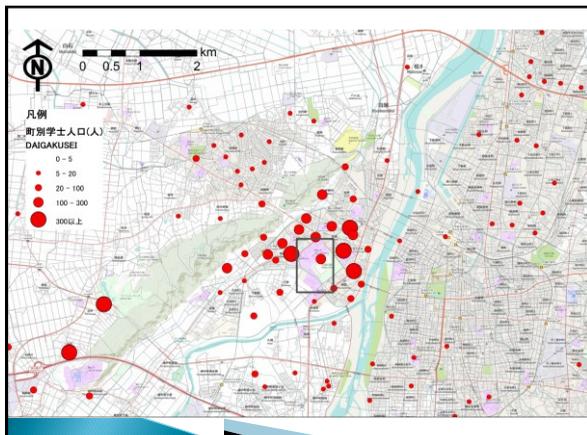


## 3. 研究対象地

▶ 富山大学五福キャンパス  
五福キャンパスのある五福地区には大学生が多く住んでいる

大きく分けて南北二つの敷地から成り立っている  
一年生の時は共通教育学部棟での授業が多い  
各学部間の交流は少ない





### インタビュー回答者一覧

学年	所属	性別	年齢	自宅(出身県)	通学方法	通学経路	通学回数(週)	通学年数
A 4	工学部機械知能システム学科 制御システム学	男	21	下宿	自転車	正門	週5	四年目
B 4	文学部東アジア言語文化 日本語学	女	22	実家 (高岡市)	自家用車	正門	週1.2	四年目
C 4	人間発達科学部発達教育学科 発達福祉コース	女	22	実家 (小矢部市)	電車・市電	正門 保健管理センター横	週0.1	四年目
D 4	文学部人文社会科学文化コース 人文地理学研究室	女	22	実家 (富山市有沢)	自家用車	正門	週4.5	四年目
E 4	人間発達科学部人間環境システム学科 人間情報コミュニケーションコース	女	22	実家 (入善町)	電車・市電	正門	週7	四年目
F 2	文学部人文社会科学文化コース 人文地理学研究室	男	20	下宿 (魚津市)	自転車	西門前	週2.3	二年目
G 3	理学部地球環境学科 青木研究室	女	21	下宿 (福井県)	自転車	西門ローソン	週3.4	三年目
H 2	理学部生物圏環境学科	女	21	下宿 (愛知県)	徒歩	正門	週5	二年目
I 3	文学部人文社会科学文化コース 人文地理学研究室	男	21	下宿 (愛知県)	自転車	サークル横近く	週3	三年目
J 3	文学部人文社会科学文化コース 国際関係論	女	21	下宿 (福井県)	自転車	正門	週3	三年目
K 4	経済学部経営法学科 民衆訴訟法専攻	女	22	実家 (富山市町村)	バス・親	保健管理センター横	週1.2	四年目
L 4	経済学部経営法学科 ファイナンスコース	女	22	下宿 (石川県)	徒歩	正門	週4	四年目
M 2	工学部環境応用化学科	女	20	実家 (西尾市)	自家用車	西門ローソン	週5	二年目

## Ⅱ 調査結果とデータの整理

### 1. 危険、もしくは不安・恐怖を感じる場所

#### 1.1. 危険を感じる空間

##### 情報基盤センター横

- 平成26年7月からの耐震工事
- 道幅が狭く、高い建物

##### メインストリートの交差点

- 路上駐車
- 自動車の一旦停止無視
- 人ごみ



#### 1.2. 犯罪不安を感じる場所

##### 第一グラウンド・第二グラウンド

##### 第一体育館・第二体育館

- 体育会系の人間

##### 学生会館前

##### 経済学部前

- サークルなどの発声練習
- 雑談する学生がたむろ

##### サークル棟

##### 第二体育館裏

- 柄の悪い人がいる

##### 工学部

- 男性が多い
- 柄の悪い人がいる

##### 人間発達科学部裏

- 暗く、人気がない

##### 経済学部

- うるさい人が多い

#### 1.3. 恐怖を感じる空間

##### 理学部棟と環境安全推進センター間道路

- 危険のマーク
- 「何かがいるような気がする」

##### 保健管理センター近く雑木林

##### 共通教育学部棟付近の門

- 暗く、狭い
- 「何かがいるような気がする」

##### 音楽棟

##### 保健管理センターと

##### 学生支援・地域連携交流プラザ間道路

- 暗い
- 「気持ち悪い」感じがする



2. 安全・安心だと感じる場所

2.1. 安全を感じる場所

中央図書館

- ・ 明るい
- ・ 人気がある

2.2. 安心を感じる空間

中央図書館

- ・ 自分のやりたいことに集中できる

自分が所属する学部の建物

- ・ 行動が許可されている
- ・ 自分の居場所

AZAMIや学生会館

- ・ くつろいだり、友人と楽しめる場所

Ⅲ 種々の恐怖の空間とそれぞれの位置関係

危険不安と犯罪不安

危険不安と恐怖

- ・ 元来恐怖を感じさせる場所に、工事や自動車などによって危険を感じさせる要素が加わる

犯罪不安と恐怖

- ・ 犯罪不安を感じる場所と恐怖を感じる場所の要因は同じ
- ・ 犯罪被害の経験や性差が犯罪不安を喚起
- ・ 自分の所属する学部付近に犯罪不安や恐怖を感じさせる要素があった場合、所属していると言う安心感が、犯罪不安や恐怖を上回る

Ⅳ おわりに

富山大学五福キャンパスの学生の中の五福キャンパス

- ①歩道と車道、車道と車道が曖昧になっている道路に危険を感じる
- ②自分に被害を加える可能性のある人が集まっている場所、もしくはそれを想起させる場所に犯罪不安抱く
- ③暗い場所や、自分が知らないことに対して恐怖を抱いている

種々の恐怖の空間とそれぞれの位置関係

危険不安は元々その場所が持っている印象に上乗せされる

犯罪不安と恐怖を抱かせる場所の特徴は似ており、その差異を生む理由は犯罪被害の有無や性差による

場所に対する既知度が犯罪不安、恐怖を軽減させる場合がある